

島本町立第三小学校

学校だより 平成30年10月臨時号

〒618-0022 大阪府三島郡島本町桜井二丁目 25-1

TEL 075-962-2521 FAX 075-962-2522 URL <http://www.shimamoto-ele03.ed.jp>

三小の子どもたちの学びと育ち

～全国学力・学習状況調査の結果分析を通して～

4月に6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。その結果について全職員で分析を行い、結果から見える課題を明らかにしました。今後、課題解決の方策として、より具体的な取り組みについて検討を重ねてまいります。

今回の調査の分析を通してあらためて明らかになったことは、「読解力」の重要性です。国語科、算数科、理科の3教科の調査でしたが、国語科に限らず算数科、理科においても「読解力」が要求されます。また、「論理的な思考力の育成だけではなく、筆者の表現の工夫を学んで自分の表現にいかす、というような表現力の育成もめざさなければなりません。従来国語科で行ってきた物語や説明文等の文章の読みにとどまらず、表・図・グラフ等様々なテキストを解釈し、自分なりの考えも加えて表現する機会を、全ての教科で意識的に行うことが大切であると思います。

【国語科】

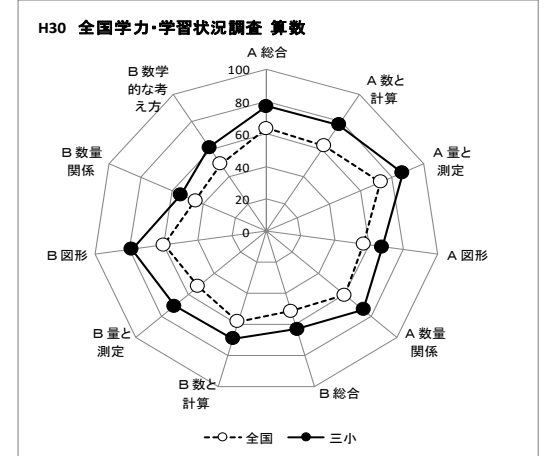
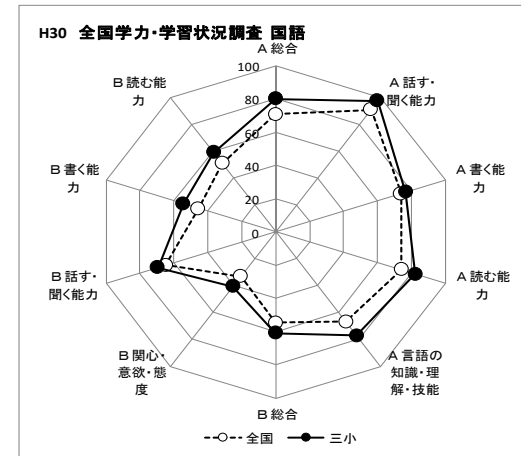
- ・ほとんどの問題において正答率が全国平均を上回っている。授業や家庭学習において、基礎学力の定着がはかられていると思われる。
- ・全ての問題において、無解答率が全国平均を下回っている。
- ・記述式の問題も全国平均を上回っているが、質問内容を正しく理解し、多くの資料から必要な箇所を選択し論理的に表現する力はまだまだ備わっていない。

【算数科】

- ・算数Aについては、全て全国平均より上回っている。3年生からの少人数指導・繰り返し指導・プリント学習等、きめ細かに指導してきた成果と思われる。
- ・記述式の問題においても、正答率が極めて高いものもある。普段の授業の中で答えを求めるだけでなく、どのような考え方で解決に至ったのか説明することを意識づけている成果と思われる。
- ・今後も数値を求めるだけでなく、記述式問題（多くの情報量の中から必要な情報を取捨選択し、解釈する）に取り組むことが必要である。
- ・既習事項と関連付け、図や表を自分なりに書き換えたり書き加えたりして解釈する力を育てる。

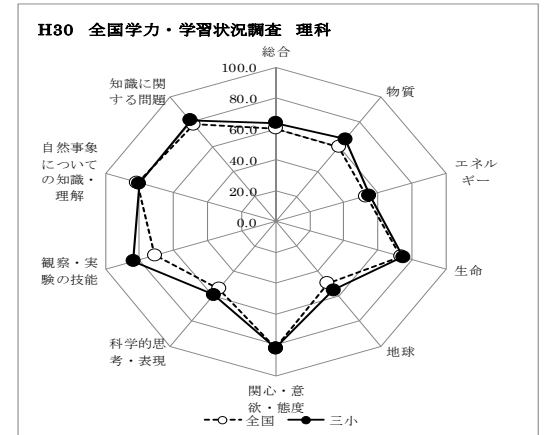
【理科】

- ・観察・実験から結果を分析し、解釈して記述する問題は正答率が高かった。今後も実験や観察を数多く体験させる。
- ・自分の考えや他者の予想を聞いて結果を見通す活動や、結果を見通して実験を考える場面等を意識して設定していく。
- ・正答率が低かった問題については、3、4年の学習事項が多く含まれていた。過去の学習事項にさかのぼって復習する機会をもつ。



学習状況（子どもたちの意識・行動）については、次回の学校だよりでお知らせします。

11月には学校教育アンケートを全保護者、4～6年生児童を対象に行います。10月26日（金）27日（土）の教育週間公開授業参観等で感じられたことも含めて、アンケートにお答えいただきますようお願い申し上げます。詳しくは、後日お知らせします。（校長 中村 りか）



Let's start !!

現在、本校では島本町の英語教育特例校制度を活用したカリキュラムで、1年生から英語活動を実施しています。全クラスにALTと担任が行う授業があり、Nativeの音声や英語のリズム、外国の文化を時には体全体で体験しながら学習をしています。

さて、これからの英語教育においては、小・中・高等学校が一貫して、英語を使う場面・目的を明確にすることも重要になると言われています。よって、どのような場面で、どのような目的のもとで使う英語表現であるかを、子どもたちは実際に先生や友だち同士のやり取りを通じて体験し、理解することが大切だと考えています。



言語活動を単に繰り返し練習するドリル的な活動として指導するのではなく、多くのコミュニケーション活動の中で対話しながら英語の単語・表現に慣れ親しみ、実際に使ってみることで、英語力が身につくよう授業を行っていききたいと思います。

（英語教育推進リーダー 原山 太郎）